

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		2年・普通学級・Ⅰ類型・2グループ		担当者名	○山科 勇人
教科・領域名		情報			
ね ら い		(1)タブレット端末等やアプリの操作方法について、基礎的な知識と技能を身に付ける。 (2)情報機器を活用し、必要なデータを選択したり、表現したりすることができる。 (3)情報社会におけるルールを学習し、情報収集を行おうとする。			
曜日・校時・時間		金曜日・4時間目・10:45～11:35			
指導場所		視聴覚室またはパソコン室			
年間授業時数		35 時間			
使用教科書		やってみよう！やさしい言葉で学べる「情報」(ジーアス教育新社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	いろいろな入力方法を 使ってみよう！	3	○ローマ字、かな、フリック、手書き、音声などの入力方法を体験して、自分がやりや すい入力方法を知る。 □キーボード設定を含め、様々な入力方法を試す。(知識・技能) □自分に合った入力方法を選択する。(思考・判断・表現)	・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作を通して学べ るように、生徒のペースに合わせ て進めていく。 ・集中して話を聞くことができよう、 タブレット端末を渡すタイミン グを工夫する。 ・前方モニターに教員の操作画面 を投影し、学習内容や操作方法を 分かりやすく指示する。 ・一斉にタブレット端末を使用する 際は、音量に配慮する。 ・入力そのものが難しい生徒につ いては、教員が支援する。	
5	様々な標準アプリの便 利な使い方を体験しよ う！	9	○生活に役立つアプリの使い方を知る。 □「えこみゅ」の使って必要なカードを作り会話してみる。 □「時計」のアラーム・タイマー機能を使って操作を覚える。 □「拡大機」を使って小さな物を見える。 □「計算機」を使って計算してみる。 □「計測」を使って、定規で測れない物を測ってみる。 □「ボイスメモ」を使って、伝言ゲームをする。 □「メモ」を使って、記録できる機能を知る。 全て(知識・技能)(思考・判断・表現) ○タブレット端末で絵を描くことでタッチペンの使い方も知る。 □タッチペンを使い、アプリ「フリーボード」で好きな絵を描き、色を塗り保存する。 ○自分にとって必要なアクセシビリティ機能を知る。 □アシスティブタッチ、画面表示とテキストサイズ、読み上げコンテンツ、ライブスピーチ 等の学習支援に配慮した機能を知り、自分に合った設定をする。(知識・技能)		
6	タッチペンを使い、絵 を描こう！				
7	アクセシビリティ機能 を活用しよう！				
9	アプリやインターネット を使って修学旅行(宿 舎や見学先)について 調べてまとめてみよう！	8	○文字や音声で検索キーワードを入力し、必要な情報を検索できる。 ○収集した情報を整理して、自分に必要な情報を選択できる。 ○スクリーンショット機能や文書作成アプリなどを使って、自分のお気に入りとして情 報をデザインする(まとめて発表する。) □サファリで検索(宿泊場所や見学先のサイト)やアプリ「マップ」「天気」などを活用 し、修学旅行(宿舎や見学先)の情報を検索する。(知識・技能) □検索した情報の中で、興味をもった情報を選ぶ。(思考・判断・表現) □興味をもった情報を整理して、お気に入りとして発表する。(主体的に学習に取り組 む態度)	・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作を通して学べ るように、生徒のペースに合わせ て進めていく。 ・集中して話を聞くことができよう、 タブレット端末を渡すタイミン グを工夫する。 ・前方モニターに教員の操作画面 を投影し、学習内容や操作方法を 分かりやすく指示する。 ・一斉にタブレット端末を使用する 際は、音量に配慮する。 ・入力そのものが難しい生徒につ いては、教員が支援する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報 モラルや情報リテラシーについて 指導する。	
10					
11	文化祭ポスターを作ろ う！	6	○画像情報を記録し、記録した画像を選択・活用できる。 ○選択した画像を、カレンダーデータに貼り付ける。 □カメラの基本操作を覚える。(知識・技能) □カメラを使い、二次元コードを読み取る。 □写真を開き、自分で撮影した画像の中から、必要な画像を選択したり、不必要な画 像を削除する。 □スクリーンショットや撮影した画像、インターネット上の画像等を選択して、オリジナ ルカレンダーを作る。(思考・判断・表現) ※作品は文化祭で展示後に、家庭に持ち帰る。		
12					
1	動画を撮ろう！ 動画を加工しよう！	6	○動画情報を記録し、管理・活用できる。 □カメラの動画機能を使い、動画や写静止画像を撮る。(知識・技能) □写真を開き、必要な静止画像や動画を選択したり、不必要な動画を削除する。(思 考・判断・表現) □動画編集アプリを使い、選択した動画を編集する(つなぐ)。テキストやステッカーを 挿入する。標準ミュージックから好きなバックグラウンドミュージックを選択して動画に挿 入する。(思考・判断・表現)	・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作をとおして学 べるように、生徒のペースに合わ せて進めていく。 ・集中して話を聞くことができよう、 タブレット端末を渡すタイミン グを工夫する。 ・前方モニターに教員の操作画面 を投影し、学習内容や操作方法を 分かりやすく指示する。 ・一斉にタブレット端末を使用する 際は、音量に配慮する。 ・入力そのものが難しい生徒につ いては、教員が支援する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報 モラルや情報リテラシーについて 指導する。	
2					
3	プログラミングを体験 しよう！	3	○プログラミングアプリを使い、プログラミングの基礎を学ぶ。 □アプリ「Viscuit」を使い、描いた絵やキャラクターを意図した動きで移動させる。(知 識・技能)		
備考		生徒が操作になれるまでは、ICT支援員が継続的に授業に入る。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		2年・普通学級・Ⅰ類型・3グループ		担当者名	○中山 悠
教科・領域名		情報			
ね ら い		(1)タブレット端末等やアプリの操作方法について、基礎的な知識と技能を身に付ける。 (2)情報機器を活用し、必要なデータを選択したり、表現したりする。 (3)情報社会におけるルールを学習し、情報収集を行おうとする。			
曜日・校時・時間		金曜日・6時間目・13:20～14:10			
指導場所		パソコン室			
年間授業時数		35 時間			
使用教科書		やってみよう！やさしい言葉で学べる「情報」(ジーアス教育新社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	いろいろな入力方法を 使ってみよう！	3	○ローマ字、かな、フリック、手書き、音声などの入力方法を体験して、自分がやりや すい入力方法を知る。 □キーボード設定を含め、様々な入力方法を試す。(知識・技能) □自分に合った入力方法を選択する。(思考・判断・表現)	・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作をとおして学 べるように、生徒のペースに合わ せて進めていく。 ・集中して話を聞くことができよう、 タブレット端末を渡すタイミング を工夫する。 ・前方モニターに教員の操作画面 を投影し、学習内容や操作方法を 分かりやすく指示する。 ・一斉にタブレット端末を使用する 際は、音量に配慮する。 ・入力が難しい生徒については、教 員が支援する。	
5	様々な標準アプリの便 利な使い方を体験しよ う！	9	○生活に役立つアプリの使い方を知る。 □「えこみゅ」の使って必要なカードを作り会話してみる。 □「時計」のアラーム・タイマー機能を使って操作を覚える。 □「拡大機」を使って小さな物を見てみる。 □「計算機」を使って計算してみる。 □「計測」を使って、定規で測れない物を測ってみる。 □「ボイスメモ」を使って、伝言ゲームをする。 □「メモ」を使って、記録できる機能を知る。 全て(知識・技能)(思考・判断・表現) ○タブレット端末で絵を描くことでタッチペンの使い方も知る。 □タッチペンを使い、アプリ「フリーボード」で好きな絵を描き、色を塗り保存する。 ○自分にとって必要なアクセシビリティ機能を知る。 □アシスティブタッチ、画面表示とテキストサイズ、読み上げコンテンツ、ライブスピーチ 等の学習支援に配慮した機能を知り、自分に合った設定をする。(知識・技能)		
6	タッチペンを使い、絵 を描こう！				
7	アクセシビリティ機能 を活用しよう！				
9	アプリやインターネット を使って修学旅行(宿 舎や見学先)について 調べてまとめてみよう！	8	○文字や音声で検索キーワードを入力し、必要な情報を検索できる。 ○収集した情報を整理して、自分に必要な情報を選択できる。 ○スクリーンショット機能や文書作成アプリなどを使って、自分のお気に入りとして情 報をデザインする(まとめて発表する。)). □サファリで検索(宿泊場所や見学先のサイト)やアプリ「マップ」「天気」などを活用し、 修学旅行(宿舍や見学先)の情報を検索する。(知識・技能) □検索した情報の中で、興味をもった情報を選ぶ。(思考・判断・表現) □興味をもった情報を整理して、お気に入りとして発表する。(主体的に学習に取り組 む態度)	・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作をとおして学 べるように、生徒のペースに合わ せて進めていく。 ・集中して話を聞くことができよう、 タブレット端末を渡すタイミング を工夫する。 ・前方モニターに教員の操作画面 を投影し、学習内容や操作方法を 分かりやすく指示する。 ・一斉にタブレット端末を使用する 際は、音量に配慮する。 ・入力が難しい生徒については、教 員が支援する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報 モラルや情報リテラシーについて指 導する。	
10					
11	文化祭ポスターを作ろ う！	6	○画像情報を記録し、記録した画像を選択・活用できる。 ○選択した画像を、カレンダーデータに貼り付ける。 □カメラの基本操作を覚える。(知識・技能) □カメラを使い、二次元コードを読み取る。 □写真を開き、自分で撮影した画像の中から、必要な画像を選択したり、不必要な画 像を削除する。 □スクリーンショットや撮影した画像、インターネット上の画像等を選択して、オリジナル カレンダーを作る。(思考・判断・表現) ※作品は文化祭で展示後に、家庭に持ち帰る。	・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作をとおして学 べるように、生徒のペースに合わ せて進めていく。 ・集中して話を聞くことができよう、 タブレット端末を渡すタイミング を工夫する。 ・前方モニターに教員の操作画面 を投影し、学習内容や操作方法を 分かりやすく指示する。 ・一斉にタブレット端末を使用する 際は、音量に配慮する。 ・入力が難しい生徒については、教 員が支援する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報 モラルや情報リテラシーについて指 導する。	
12					
1	動画を撮ろう！ 動画を加工しよう！	6	○動画情報を記録し、管理・活用できる。 □カメラの動画機能を使い、動画や写静止画像を撮る。(知識・技能) □写真を開き、必要な静止画像や動画を選択したり、不必要な動画を削除する。(思 考・判断・表現) □動画編集アプリなどを使い、選択した動画を編集する(つなぐ)。テキストやステッ カーを挿入する。標準ミュージックから好きなバックグラウンドミュージックを選択して動 画に挿入する。(思考・判断・表現)	・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作をとおして学 べるように、生徒のペースに合わ せて進めていく。 ・集中して話を聞くことができよう、 タブレット端末を渡すタイミング を工夫する。 ・前方モニターに教員の操作画面 を投影し、学習内容や操作方法を 分かりやすく指示する。 ・一斉にタブレット端末を使用する 際は、音量に配慮する。 ・入力が難しい生徒については、教 員が支援する。	
2					
3	プログラミングを体験 しよう！	3	○プログラミングアプリを使い、プログラミングの基礎を学ぶ。 □プログラミングアプリを使い、描いた絵やキャラクターを意図した動きで移動させる。 (知識・技能)	・生徒の状況に応じて、適宜、情報 モラルや情報リテラシーについて指 導する。	
備考		生徒が操作になれるまでは、ICT支援員継が継続的に授業に入る。 学習内容や生徒の技能取得状況に応じて、3・4グループ合同で行う場合もある。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		2年・普通学級・I 類型・4グループ		担当者名	○小谷 真樹子
教科・領域名		情報			
ね ら い		(1)タブレット端末等やアプリの操作方法について、基礎的な知識と技能を身に付ける。 (2)情報機器を活用し、必要なデータを選択したり、表現したりする。 (3)情報社会におけるルールを学習し、情報収集を行おうとする。			
曜日・校時・時間		金曜日・6時間目・13:20～14:10			
指導場所		視聴覚室またはパソコン室			
年間授業時数		35 時間			
使用教科書		やってみよう！やさしい言葉で学べる「情報」(ジーアス教育新社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4	いろいろな入力方法を 使ってみよう!	3	○ローマ字、かな、フリック、手書き、音声などの入力方法を体験して、自分がやりやすい入力方法を知る。 □キーボード設定を含め、様々な入力方法を試す。(知識・技能) □自分に合った入力方法を選択する。(思考・判断・表現)		・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・集中して話を聞くことができるよう、タブレット端末を渡すタイミングを工夫する。 ・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・一斉にタブレット端末を使用する際は、音量に配慮する。 ・入力が難しい生徒については、教員が支援する。
5	様々な標準アプリの便利な使い方を体験しよう!	9	○生活に役立つアプリの使い方を知る。 □「えこみゅ」の使って必要なカードを作り会話してみる。 □「時計」のアラーム・タイマー機能を使って操作を覚える。 □「拡大機」を使って小さな物を見てみる。 □「計算機」を使って計算してみる。 □「計測」を使って、定規で測れない物を測ってみる。 □「ボイスメモ」を使って、伝言ゲームをする。 □「メモ」を使って、記録できる機能を知る。 全て(知識・技能)(思考・判断・表現) ○タブレット端末で絵を描くことでタッチペンの使い方を知る。 □タッチペンを使い、アプリ「フリーボード」で好きな絵を描き、色を塗り保存する。 ○自分にとって必要なアクセシビリティ機能を知る。 □アシスティブタッチ、画面表示とテキストサイズ、読み上げコンテンツ、ライブスピーチ等の学習支援に配慮した機能を知り、自分に合った設定をする。(知識・技能)		
6	タッチペンを使い、絵を描こう!				
7	アクセシビリティ機能を 活用しよう!				
9	アプリやインターネットを使って修学旅行(宿舎や見学先)について調べてまとめてみよう!	8	○文字や音声で検索キーワードを入力し、必要な情報を検索できる。 ○収集した情報を整理して、自分に必要な情報を選択できる。 ○スクリーンショット機能や文書作成アプリなどを使って、自分のお気に入りとして情報をデザインする(まとめて発表する。) □サファリで検索(宿泊場所や見学先のサイト)やアプリ「マップ」「天気」などを活用し、修学旅行(宿舎や見学先)の情報を検索する。(知識・技能) □検索した情報の中で、興味をもった情報を選ぶ。(思考・判断・表現) □興味をもった情報を整理して、お気に入りとして発表する。(主体的に学習に取り組む態度)		・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・集中して話を聞くことができるよう、タブレット端末を渡すタイミングを工夫する。 ・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・一斉にタブレット端末を使用する際は、音量に配慮する。 ・入力が難しい生徒については、教員が支援する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。
10					
11	文化祭ポスターを作ろう!	6	○画像情報を記録し、記録した画像を選択・活用できる。 ○選択した画像を、カレンダーデータに貼り付ける。 □カメラの基本操作を覚える。(知識・技能) □カメラを使い、二次元コードを読み取る。 □写真を開き、自分で撮影した画像の中から、必要な画像を選択したり、不必要な画像を削除する。 □スクリーンショットや撮影した画像、インターネット上の画像等を選択して、オリジナルカレンダーを作る。(思考・判断・表現) ※作品は文化祭で展示後に、家庭に持ち帰る。		
12					
1	動画を撮ろう! 動画を加工しよう!	6	○動画情報を記録し、管理・活用できる。 □カメラの動画機能を使い、動画や写静止画像を撮る。(知識・技能) □写真を開き、必要な静止画像や動画を選択したり、不必要な動画を削除する。(思考・判断・表現) □動画編集アプリを使い、選択した動画を編集する(つなぐ)。テキストやステッカーを挿入する。標準ミュージックから好きなバックグラウンドミュージックを選択して動画に挿入する。(思考・判断・表現)		・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・集中して話を聞くことができるよう、タブレット端末を渡すタイミングを工夫する。 ・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・一斉にタブレット端末を使用する際は、音量に配慮する。 ・入力が難しい生徒については、教員が支援する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。
2					
3	プログラミングを体験しよう!	3	○プログラミングアプリを使い、プログラミングの基礎を学ぶ。 □プログラミングアプリを使い、描いた絵やキャラクターを意図した動きで移動させる。(知識・技能)		・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。
備考		生徒が操作になれるまでは、ICT支援員に継続的に授業に入ってもらう。 学習内容や生徒の技能取得状況に応じて、3・4グループ合同で行う場合もある。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		2年・普通学級・Ⅱ類型・5グループ		担当者名	○宗田 明菜
教科・領域名		情報			
ね ら い		(1)タブレット端末やアプリの操作方法について、応用的な知識と、生活に役立つ技能を身に付ける。 (2)タブレット端末を活用し、必要なデータを選択したり、表現したりすることができる。 (3)情報社会におけるルールを学習し、情報収集や情報整理を行おうとする。			
曜日・校時・時間		金曜日・7時間目・14:15～15:05			
指導場所		視聴覚室・パソコン室			
年間授業時数		35.0 時間			
使用教科書		やってみよう！やさしい言葉で学べる「情報」(ジーアス教育新社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4	体育祭ポスターを作ろう！	6	○画像情報を記録し、記録した画像を選択・活用できる。 ○選択した画像を、カレンダーデータに貼り付ける。 □カメラの基本操作を覚える。(知識・技能) □写真を開き、スクリーンショットや撮影した画像、インターネット上の画像等を選択して、文章作成アプリなどに貼り付ける。(思考・判断・表現) □必要な文字情報を入力したり、オリジナル文化祭ポスターを作成する。(思考・判断・表現) ※作品は掲示し、体育祭後、家庭に持ち帰る。		・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・集中して話を聞くことができるよう、タブレット端末を渡すタイミングを工夫する。
5					
6	動画を撮ろう！ 動画を加工しよう！ 自作動画を作ろう！	7	○動画情報を記録し、管理・活用できる。 □カメラの動画機能を使い、動画や写真静止画像を撮る。(知識・技能) □写真を開き、必要な静止画像や動画を選択したり、不必要な動画を削除する。(思考・判断・表現) □動画編集アプリなどを使い、選択した動画を編集する(つなぐ)。テキストやステッカーを挿入する。標準ミュージックから好きなバックグラウンドミュージックを選択して動画に挿入する。(思考・判断・表現)		・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。
7					
9	アプリやインターネットを使って修学旅行(宿舍や見学先)について調べてまとめてみよう！ クイズを作ろう！	7	○文字や音声で検索キーワードを入力し、必要な情報を検索できる。 ○収集した情報を整理して、自分に必要な情報を選択できる。 ○スクリーンショット・トリミング機能やアプリ文章作成アプリなどを使って、情報をデザインする(まとめて発表する)。 □サファリで検索(宿泊場所や見学先のサイト)やアプリ「マップ」「天気」などを活用し、移動教室(宿舍や見学先)の情報を検索する。(知識・技能) □検索した情報の中で、興味をもった情報を選ぶ。(思考・判断・表現) □興味をもった情報を整理して文章作成アプリなどにまとめたり、「Forms」でクイズを作ったり発表する。(主体的に学習に取り組む態度)		・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・集中して話を聞くことができるよう、タブレット端末を渡すタイミングを工夫する。
10					
11	デジタル掲示板を使って、共同作業をしてみよう！	6	○デジタル掲示板・ホワイトボードアプリを使い、画像やコメントなどを1つのボードに貼り付けて共有する体験をする。 □オンライン(ウェブ)上で使えるパドレット(Padlet)を使い、学校をもっと楽しくするアイデアをホワイトボード画面に貼り付け、グループで共有して深めていく。(思考・判断・表現) □コメントなども貼り付けられる技能を身に付ける。(知識・技能)		・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。
12					
1	アンケート調査をしよう！	6	○データを集める方法を知る。 ○ウェブアンケート【Forms】を使い、情報を収集してみる。 ○収集した情報を、表やグラフを使ってまとめる。 □アンケートのテーマを決める。(思考・判断・表現) □ウェブアンケート【Forms】を使い、アンケートフォームを作成する。(知識・技能) □収集した情報を、表計算アプリなどを使い、表やグラフにまとめる。(知識・技能) □発表し仲間と共有する。(主体的に学習に取り組む態度)		・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・集中して話を聞くことができるよう、タブレット端末を渡すタイミングを工夫する。 ・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。
2					
3	プログラミングを体験しよう！	3	○プログラミングアプリを使い、プログラミングの基礎を学ぶ。 □プログラミングアプリを使い、描いた絵やキャラクターを意図した動きで移動させる。(知識・技能)		・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。
備考		学習内容によっては、ICT支援員に授業に入ってもらおう。 生徒の実態に応じて、毎回の授業の中でタイピングの時間を設定する。 学習内容や生徒の技能取得状況に応じて、5・6グループ合同で行う場合もある。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		2年・普通学級・Ⅱ類型・6グループ		担当者名	○小松 悠太
教科・領域名		情報			
ね ら い		(1)タブレット端末やアプリの操作方法について、応用的な知識と、生活に役立つ技能を身に付ける。 (2)タブレット端末を活用し、必要なデータを選択したり、表現したりすることができる。 (3)情報社会におけるルールを学習し、情報収集や情報整理を行おうとする。			
曜日・校時・時間		金曜日・7時間目・14:15～15:05			
指導場所		視聴覚室・パソコン室			
年間授業時数		35.0 時間			
使用教科書		やってみよう！やさしい言葉で学べる「情報」(ジーアス教育新社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	体育祭ポスターを作ろう！	6	○画像情報を記録し、記録した画像を選択・活用できる。 ○選択した画像を、カレンダーデータに貼り付ける。 □カメラの基本操作を覚える。(知識・技能) □写真を開き、スクリーンショットや撮影した画像、インターネット上の画像等を選択して、文章作成アプリなどに貼り付ける。(思考・判断・表現) □必要な文字情報を入力したり、オリジナル文化祭ポスターを作成する。(思考・判断・表現) ※作品は掲示し、体育祭後、家庭に持ち帰る。	・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせ進めていく。 ・集中して話を聞くことができるよう、タブレット端末を渡すタイミングを工夫する。	
5					
6	動画を撮ろう！ 動画を加工しよう！ 自作動画を作ろう！	7	○動画情報を記録し、管理・活用できる。 □カメラの動画機能を使い、動画や写静止画像を撮る。(知識・技能) □写真を開き、必要な静止画像や動画を選択したり、 unnecessary動画を削除する。(思考・判断・表現) □動画編集アプリなどを使い、選択した動画を編集する(つなぐ)。テキストやステッカーを挿入する。標準ミュージックから好きなバックグラウンドミュージックを選択して動画に挿入する。(思考・判断・表現)	・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。	
7					
9	アプリやインターネットを使って修学旅行(宿舍や見学先)について調べてまとめてみよう!クイズを作ろう!	7	○文字や音声で検索キーワードを入力し、必要な情報を検索できる。 ○収集した情報を整理して、自分に必要な情報を選択できる。 ○スクリーンショット・トリミング機能やアプリ文章作成アプリなどを使って、情報をデザインする(まとめて発表する)。 □サファリで検索(宿泊場所や見学先のサイト)やアプリ「マップ」「天気」などを活用し、移動教室(宿舍や見学先)の情報を検索する。(知識・技能) □検索した情報の中で、興味をもった情報を選ぶ。(思考・判断・表現) □興味をもった情報を整理して文章作成アプリなどにまとめたり、「Forms」でクイズを作ったり発表する。(主体的に学習に取り組む態度)	・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせ進めていく。 ・集中して話を聞くことができるよう、タブレット端末を渡すタイミングを工夫する。	
10					
11	デジタル掲示板を使って、共同作業をしてみよう!	6	○デジタル掲示板・ホワイトボードアプリを使い、画像やコメントなどを1つのボードに貼り付けて共有する体験をする。 □オンライン(ウェブ)上で使えるパドレット(Padlet)を使い、学校をもっと楽しくするアイデアをホワイトボード画面に貼り付け、グループで共有して深めていく。(思考・判断・表現) □コメントなども貼り付けられる技能を身に付ける。(知識・技能)	・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。	
12					
1	アンケート調査をしよう!	6	○データを集める方法を知る。 ○ウェブアンケート【Forms】を使い、情報を収集してみる。 ○収集した情報を、表やグラフを使ってまとめる。 □アンケートのテーマを決める。(思考・判断・表現) □ウェブアンケート【Forms】を使い、アンケートフォームを作成する。(知識・技能) □収集した情報を、表計算アプリなどを使い、表やグラフにまとめる。(知識・技能) □発表し仲間と共有する。(主体的に学習に取り組む態度)	・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせ進めていく。 ・集中して話を聞くことができるよう、タブレット端末を渡すタイミングを工夫する。	
2					
3	プログラミングを体験しよう!	3	○プログラミングアプリを使い、プログラミングの基礎を学ぶ。 □プログラミングアプリを使い、描いた絵やキャラクターを意図した動きで移動させる。(知識・技能)	・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。	
備考		学習内容によっては、ICT支援員に授業に入ってもらおう。 生徒の実態に応じて、毎回の授業の中でタイピングの時間を設定する。 学習内容や生徒の技能取得状況に応じて、5・6グループ合同で行う場合もある。			